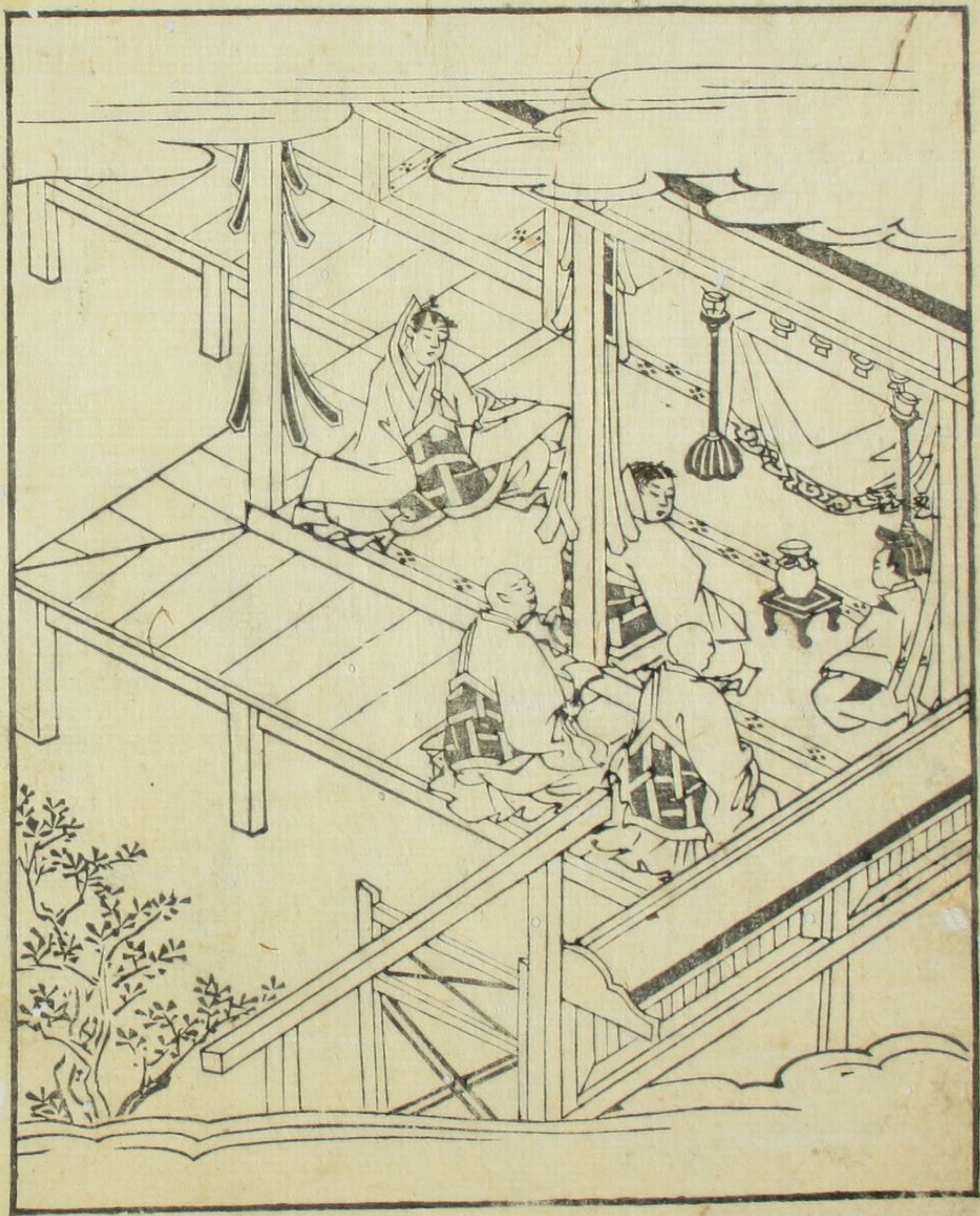




か
か
か

下





練真
カレシキ

まはらりくくわなまう海はれはらり
 小室おの君琴ひらきさしきりらりら
 きんちりう申よちおののひらきさしきりらり
 わらうをきんちりうをひらきさしきりらり
 こいあんなにきりうをひらきさしきりらり
 うらのちりうをひらきさしきりらり

わかれきりうをひらきさしきりらり
 かきりうをひらきさしきりらり

世ほ
 イタキハ心イタキ
 白子タミク思フ
 アスクシタんちつト
 小室おの君
 カレシキ
 ハカシキ
 ハカシキ
 ハカシキ

アハシキコト
 キフミコト
 ハカシキ

馬道

細い馬道

廊下

しんじき丸見ノマリ

キヤウシニシナシタリ

カキハチ

スミナリ

コトノサ

コトノサ

巨い等

各々

ナカウノイラフラスネ

シムニ

大なる方後ノヨリヨリ

入

し

し

し

し

し

し

し

し

水西

六七月暑者キ

付加傍シテ

主水司ヨリ

申上ル

今御領ノ

申上ル

申上ル

申上ル

申上ル

し

し

し

し

し

し

暑者ノイナシ

一ツ

申上ル

申上ル

カキハチ

シムニ

コトノサ

し

なとすしぬ ^{中まの} けりてう捨すぬらん ^{中まの} しまあ

ナリカノクハトハなる信
ナリト

行つるあはれもんさきこしうやうふたのぼるり ^{中まの} くらさ
おあやし小室おはわん ^{中まの} とおさ ^{中まの} むい ^{中まの} おさ ^{中まの} ず ^{中まの} せん ^{中まの} と人

ス ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

いん ^{中まの} ん ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

あ ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

い ^{中まの} ん ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

大 ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

申 ^{中まの} の ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

小 ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

と ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

小 ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

う ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

白 ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

わ ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

小 ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

お ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

乃 ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

乃 ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

お ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

お ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

と ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

と ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

と ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

と ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり ^{中まの} けり

^{中まの} けり

武に神馬右馬友
マツル方兄サカ

作後武マツル

いまうけぬ

豊後事

石ツル人カ
ナヤシ

高君トス対丁辰

美らちうてあつて右にほほ

しくあつてあつてほほ

自にあつてあつてほほ

とんあつてあつてほほ

あつてあつてほほ

のほほあつてほほ

とあつてあつてほほ

とあつてあつてほほ

とあつてあつてほほ

とあつてあつてほほ

とあつてあつてほほ

武に神馬右馬友
マツル方兄サカ

テシ

巴住

モリニカラ
サヌメサヌメ

又ミアツル世に
ト(世にト作ラシ)

あつてあつてほほ

は毎自水セトカシラス
又仕トセヨリト

とあつてあつてほほ

とあつてあつてほほ

とあつてあつてほほ

とあつてあつてほほ

とあつてあつてほほ

とあつてあつてほほ

とあつてあつてほほ

とあつてあつてほほ

とあつてあつてほほ

とあつてあつてほほ

世居
サヌメサヌメ
モリニカラ
サヌメサヌメ

んちんく

天十は月十に心要思し

んちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

おをいひさし〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

ワフルカンワラ
ヌカンコト

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

てんちんく

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

シリウゴト

後言

あるまじき言ふ事
はなすてヨロコビ
トコト

よめゆりまもやうにわたりぬるに
おぼえりて

しあつらんよつてても
おぼえりて

らるるまはるる
おぼえりて

すらうもとも
おぼえりて

くつそめ
おぼえりて

よ松も
おぼえりて

行くこと
おぼえりて

まはるる
おぼえりて

わたり
おぼえりて

わらわ
おぼえりて

ゆき
おぼえりて

かけり
おぼえりて

長きうらまはるる
あつたまはるる
秋夕はあつたまはるる
虎骨の輪下まはるる
玉法

友の月を
照河の
けりて
まはるる
あつたまはるる

しるべ
次ノ年ノ書ニテノコトアリ

おぼえりて

おぼえりて

おぼえりて

おぼえりて

おぼえりて

おぼえりて

おぼえりて

おぼえりて

おぼえりて

おぼえりて

おぼえりて

てはトシケル
中々方
シカ
原川
忠心
心

下向ト
り
コト
シ
メ
ウ

Handwritten notes in the top right corner of the right page, including the word "Handwritten" and other illegible characters.

Main body of handwritten text on the right page, written in a cursive script.

Handwritten notes at the bottom of the right page, possibly a signature or date.

Handwritten notes in the top right corner of the left page, including the word "現心" (Genjin) and other illegible characters.

Main body of handwritten text on the left page, written in a cursive script.

Handwritten musical notation on the right page, consisting of a single staff with various notes and rests.

Handwritten text at the top right of the right page, possibly a title or reference.

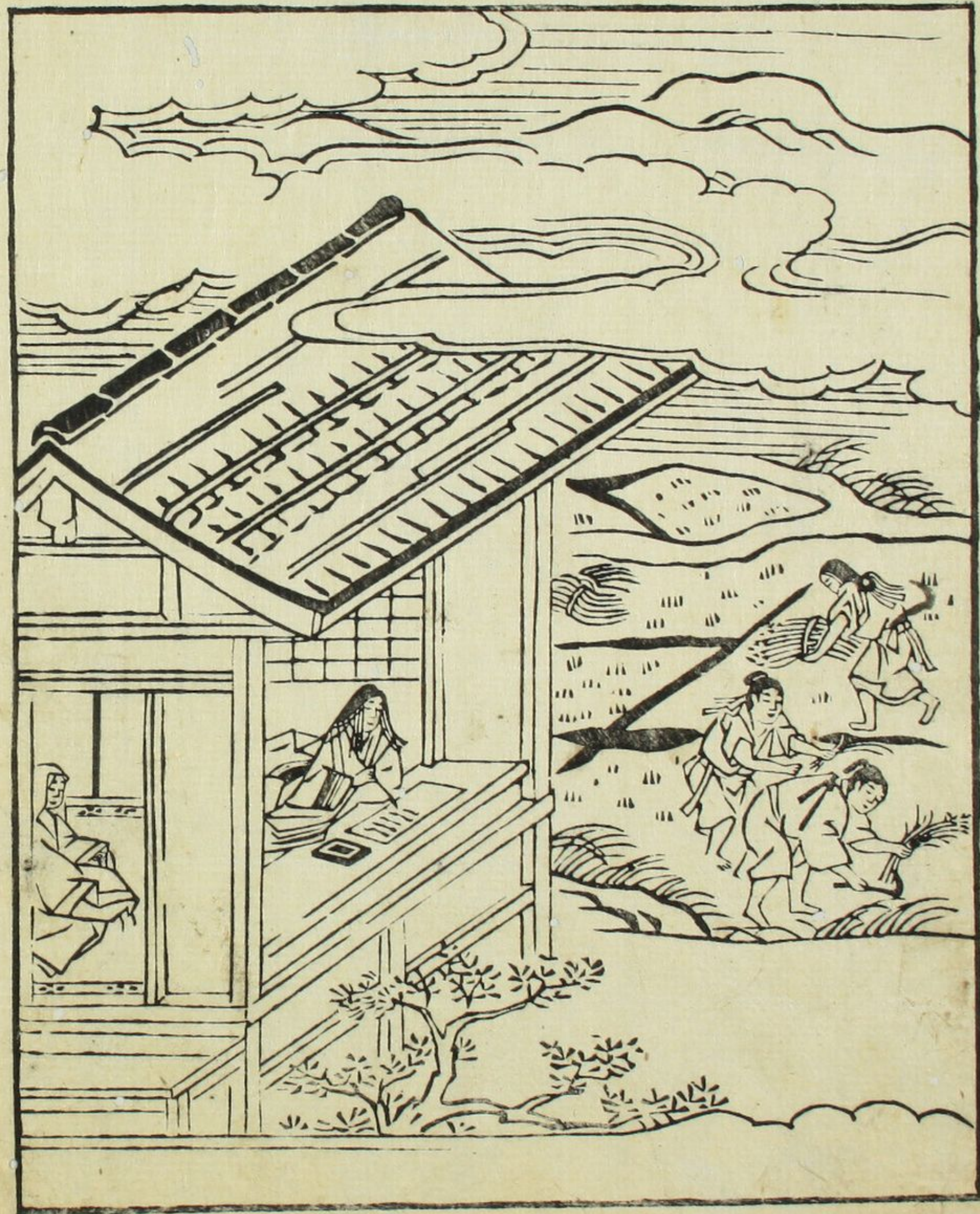
扉和

Handwritten musical notation on the left page, consisting of a single staff with various notes and rests.

Handwritten text at the top left of the left page, possibly a title or reference.

田ツ松村モロル時モカニ
凡流シセシ

ゆまイカナ九切思シテ
アセント



無敵

アキキナリ

あききなりはゆがひはるんあめれんアキキナリと思ひ

と思ひアキキナリあききなりはゆがひはるんあめれん

あききなりはゆがひはるんあめれんアキキナリと思ひ

あききなりはゆがひはるんあめれんアキキナリと思ひ

あききなりはゆがひはるんあめれんアキキナリと思ひ

あききなりはゆがひはるんあめれんアキキナリと思ひ

あききなりはゆがひはるんあめれんアキキナリと思ひ

あききなりはゆがひはるんあめれんアキキナリと思ひ

あききなりはゆがひはるんあめれんアキキナリと思ひ

あききなりはゆがひはるんあめれんアキキナリと思ひ

調子
トシ

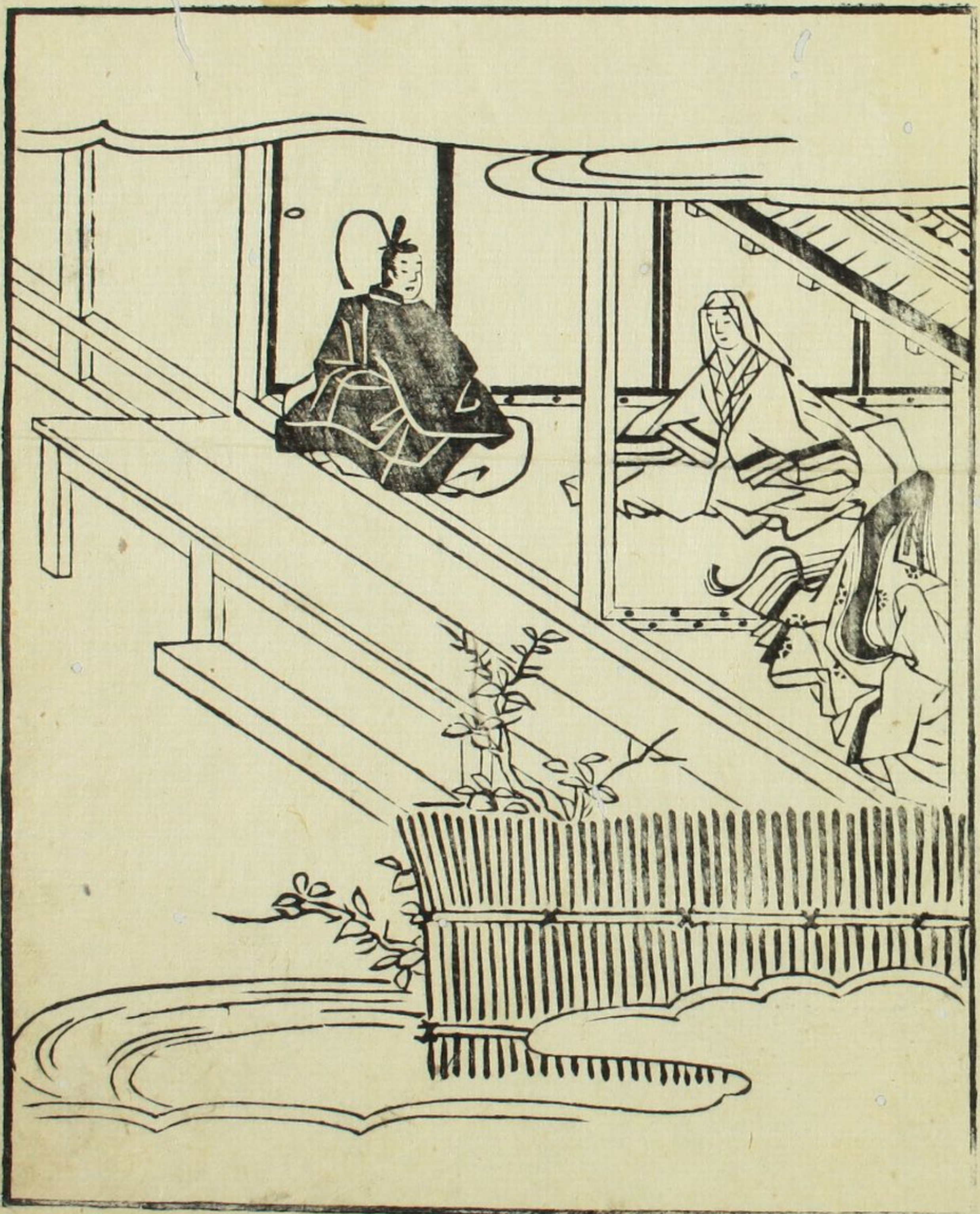
このま
音名

あききなりはゆがひはるんあめれんアキキナリと思ひ

水飯テ飯類
又下飯
蓮子テ子
又下飯

庭又時平のツツニ
コリニシ

あゆみーせんがサあきとさあふらぬ花を信より
 へんくまひんかあのおくもあふよる魚の君を信より
 こぢし物とひらぬふらぬ座下のりて家
 ざらんそわおの尻はむせしられつま入
 ほうげすまのひのひはうらうらあめあつ
 したあきかあつてこのおほら人もあ
 ぬんをえあしてあき見おも思ひあつおほら人も
 とひあまあひ日あめあふところよさうら
 さいしあひいれんはあひあひあひい
 けうふあひいれいあふあふと見あふと
 んくあひい



お家付て本丁シホコリ
アヒテ有ればト

らねやろうひらうほうんはあいのど

うらちがとほのうらちのうらちのうらちのうらち

わいりやう
奥多き 孫のあまのついでにわらわらひ

後キトたん
うへへや行のていろうそくぞいのほりせん

流轉三界中恩愛
不能断断断入を
実報恩者

勝相 疑ノロノ文 流轉三界中恩愛
とやセうつらひの傍らぎ行アヒの

又世ヲステット
後リテ凡雅集

なすおよもほのあひは

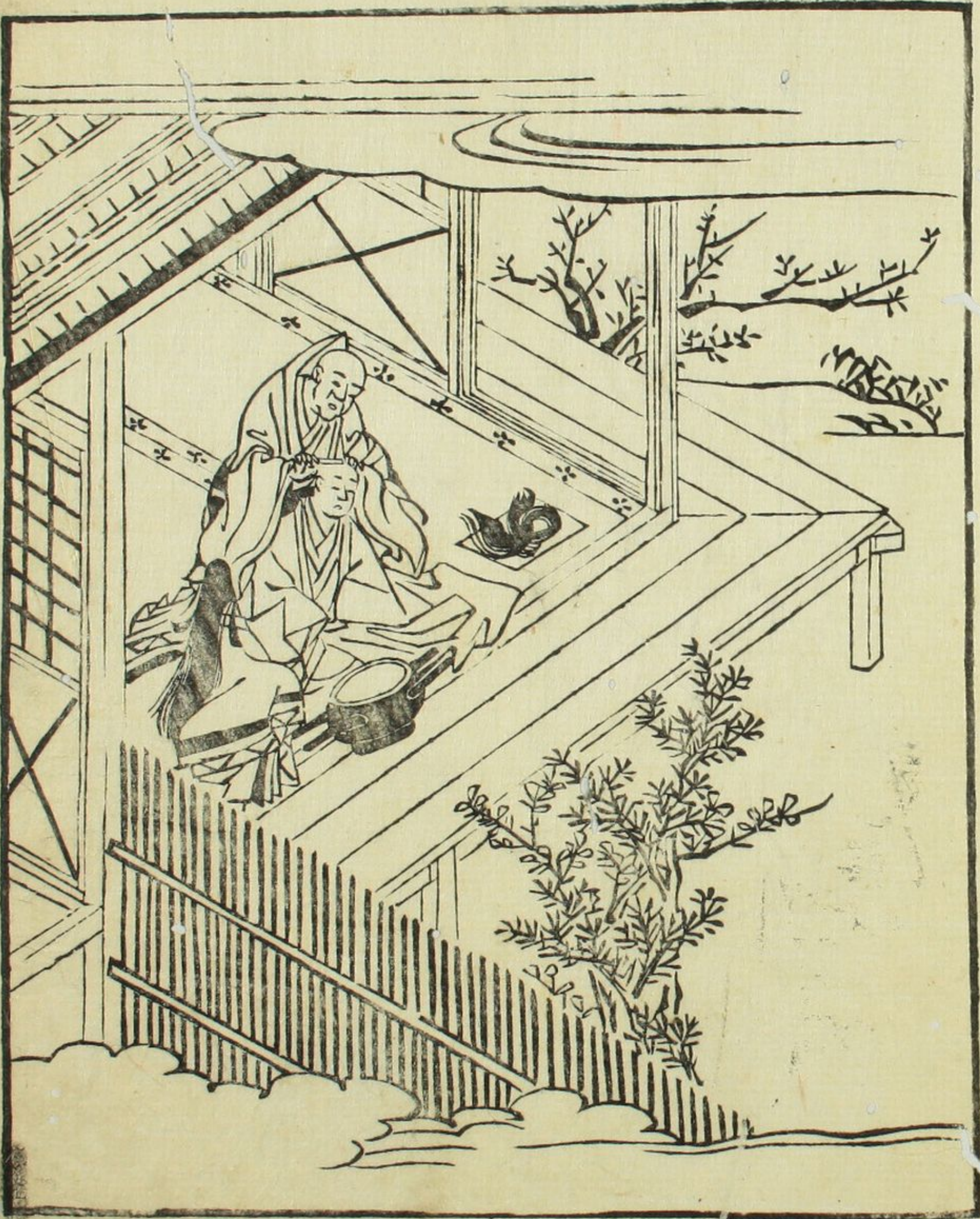
さて〜世の所はすてつ

かき〜おのひなうのうらち

うらち〜ささあうらち

生界初ニ七爾ス
ト云

捨セシマラヌ
テ捨ト



中好きうて

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

右にカリタニシキナテ

けせ片

け序及名

ちよていユトリ

道心ヲユサト

延書ヲ尾ニテナセリ

舟ヨリニモ浮本ハ

シヨクナル也

キレシナシテモナ

チノリトナセ

ニシキ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

スミエトクノミカサ

尾ニカサフト

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

尾子シヤカサシニセマ

セナリトシヤカサシ

チヨリトシヤカサシ

チヨリトシヤカサシ

チヨリトシヤカサシ

チヨリトシヤカサシ

チヨリトシヤカサシ

チヨリトシヤカサシ

チヨリトシヤカサシ

チヨリトシヤカサシ

チヨリトシヤカサシ

チヨリトシヤカサシ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

チヨリ

不喜、腹ニ人
好毒、ハキキ舟

いさより腹ニホリ
テ

あらう
姉君ト浮舟ト

せぬまゝいそのせいのこゝろ入世の心なす
 をあまのまよへせぬけしむまほしき世のつは
 さまはねん^{おぼろ}のよきものおぼろに
 けしむまよへし^{おぼろ}あまのまよへし
 ハまのつち^{おぼろ}ち二人まほしき世のつは
 ちねあいのけな^{おぼろ}のいさむら腹あつとちねあ
 ありてちねあ出まのまよへし^{おぼろ}のつち
 よもまいつけねい^{おぼろ}ら
 る^{おぼろ}いけむ^{おぼろ}あまのまよへし
 ありまよへし^{おぼろ}い^{おぼろ}まよへし
 とも^{おぼろ}い^{おぼろ}あ^{おぼろ}の^{おぼろ}まよへし

相成
自水戸
テ殿柱

吊はま

うせの形尺のま
あまのまよへし^{おぼろ}あ
ま^{おぼろ}あ^{おぼろ}ん

あまのまよへし^{おぼろ}あ
ま^{おぼろ}あ^{おぼろ}ん

まある
夜に
あまのまよへし^{おぼろ}

ちねあ^{おぼろ}は^{おぼろ}い^{おぼろ}ら^{おぼろ}の^{おぼろ}まよへし^{おぼろ}

あまのまよへし^{おぼろ}あ
ま^{おぼろ}あ^{おぼろ}ん

あまのまよへし^{おぼろ}あ
ま^{おぼろ}あ^{おぼろ}ん

あまのまよへし^{おぼろ}あ
ま^{おぼろ}あ^{おぼろ}ん

あまのまよへし^{おぼろ}あ
ま^{おぼろ}あ^{おぼろ}ん

あまのまよへし^{おぼろ}あ
ま^{おぼろ}あ^{おぼろ}ん

あまのまよへし^{おぼろ}あ
ま^{おぼろ}あ^{おぼろ}ん

あまのまよへし^{おぼろ}あ
ま^{おぼろ}あ^{おぼろ}ん

あまのまよへし^{おぼろ}あ
ま^{おぼろ}あ^{おぼろ}ん

白コトノ思フテ世々カク
フヌ

東師範口中堂一系
伯三十三丁僧都下
思ん

壬子胡蝶後全死
夏シヤカセリ
古より

世の中をなれたるは浮橋と
折渡り物とをくら

去の世の浮橋とゆて
をり列を橋をのり
世間一カ物着のり
七層は心算中ハ行時
十万里シテ行物
橋下水流ルモ橋

うらたふゆ
とゆもいぢらもよ
とゆもいぢらもよ

とゆもいぢらもよ
とゆもいぢらもよ

中堂と事終る
中堂と事終る

りしてはせ
りしてはせ

後浮橋ト号スル
式は浮橋ト成テ下
テモ千カカク
至ルテ是口
無知後源氏一
源氏一代
早世軸
于終

浮橋 董舟を
董舟を

日横川舟子
日横川舟子

五戒

いまも
いまも

いまも
いまも

いまも
いまも

いまも
いまも

いまも
いまも

いまも
いまも

いまも
いまも

いまも
いまも

いまも
いまも

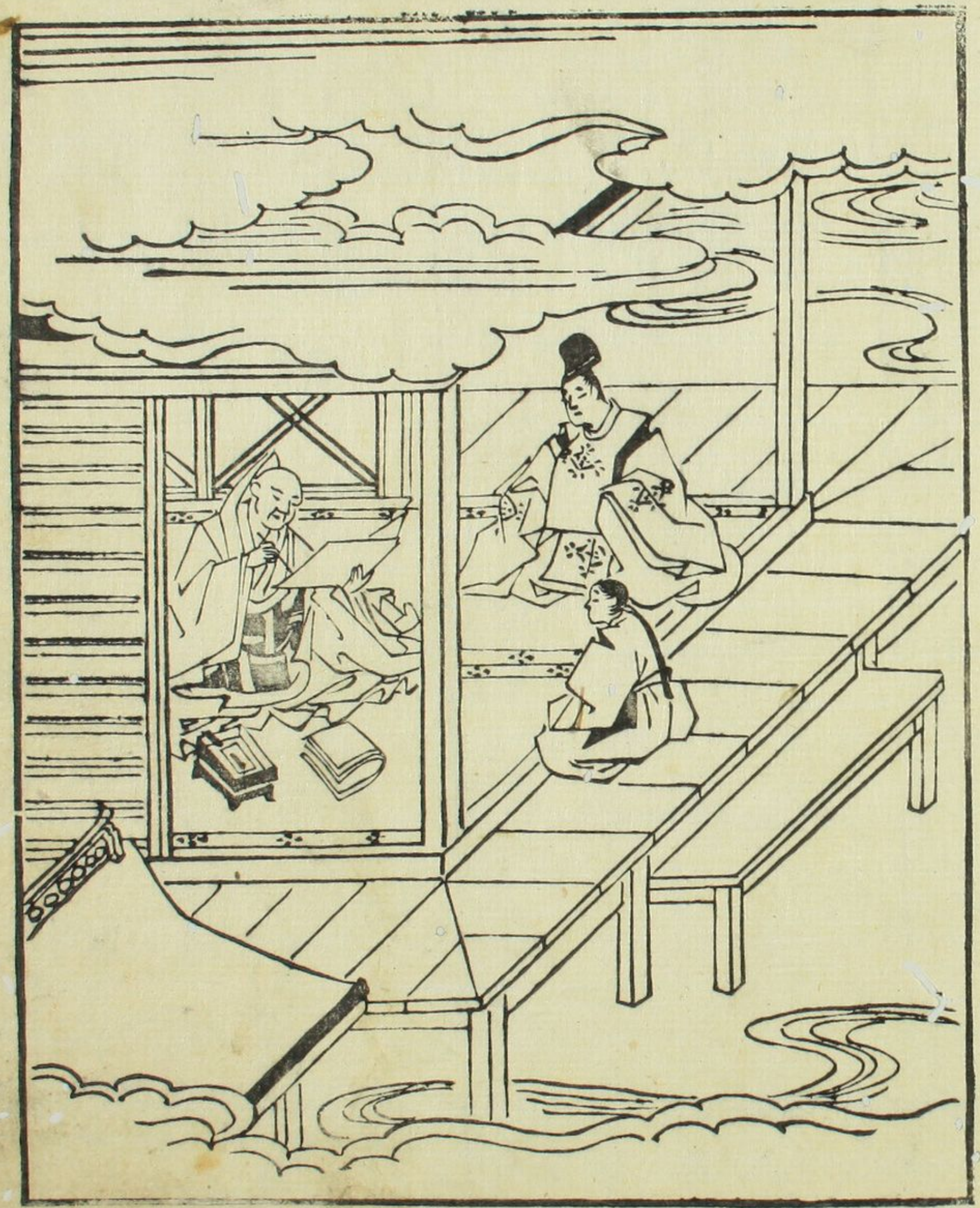
いまも
いまも

いまも
いまも

なまぢ大か

たかまのいん
 びんしほのこ
 あしと

乃ゆうこちうぐわせんはやくうほまの人
 こいせうしほのこあまのこらふれはと
 まもやまのこのほくしほのこまもせほん
 はほのこくほんこまほくしほのこまもせほん
 うほくしほのこまほくしほのこまもせほん
 こまほくしほのこまほくしほのこまもせほん
 時くしほのこまほくしほのこまもせほん
 らひま



例、善、心、又、ル、キ、

け、小、君、の、名、は、
姉、上、と、そ、と、り、て
女、見、才、に、イ、キ、イ、テ
ワ、ト、ニ、イ、ル、

海、の、キ、ラ、ハ、シ、ニ、依、伏、
フ、ニ、シ、ル、

し、よ、又、そ、う、て、口、替、り、り、ち、ぢ、の、お、も、お、も、お、お、

も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、

も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、

も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、

も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、

も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、

も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、

唯、
飲、杯、初、

目、
ソ、ト、メ、ニ、

小、野、

ノ、

も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、

も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、

も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、

も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、

も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、

も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、

も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、

カ、ウ、
シ、ク、シ、ク、ア、ラ、又、カ、シ、ク、
ソ、ト、ト、

小、野、

江戸トモト云初ノ
 元似合子トシ初
 したにれやれ
 其の世ト思こし

ともてし
 アコチやいし

乃由のく

此のよこたはあつちから
 ちよひのよこたはあつちから
 ちよひのよこたはあつちから

不意十九日

兄ちん
 カミラナレムモ
 カヌハワシナリト
 トクノカレシナキ

ちよひのよこたはあつちから
 ちよひのよこたはあつちから
 ちよひのよこたはあつちから
 ちよひのよこたはあつちから
 ちよひのよこたはあつちから
 ちよひのよこたはあつちから
 ちよひのよこたはあつちから
 ちよひのよこたはあつちから

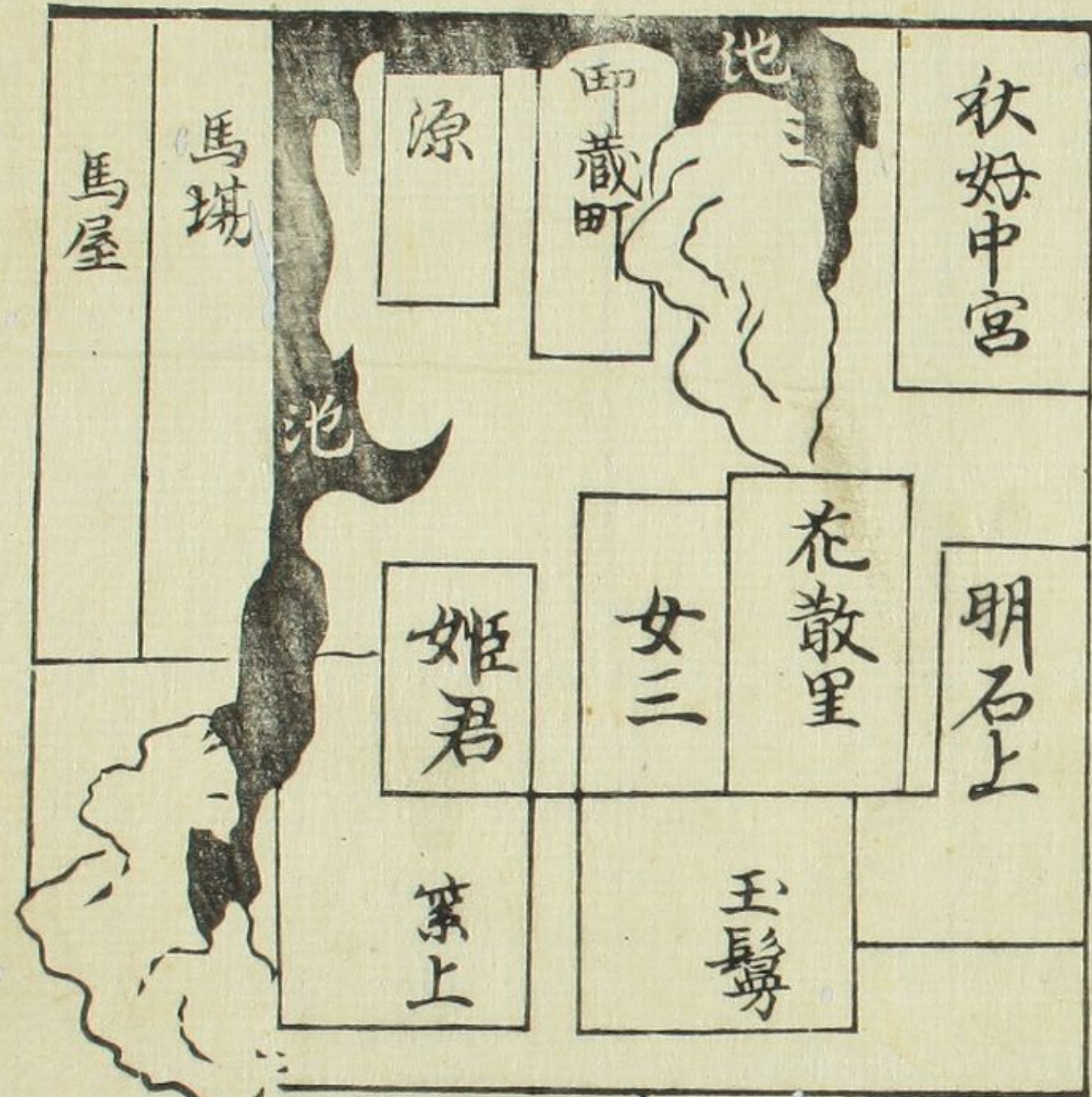
周章

江戸トモト云初ノ
 元似合子トシ初
 したにれやれ
 其の世ト思こし

乃由のく
 此のよこたはあつちから
 ちよひのよこたはあつちから
 ちよひのよこたはあつちから
 ちよひのよこたはあつちから
 ちよひのよこたはあつちから
 ちよひのよこたはあつちから
 ちよひのよこたはあつちから

江戸トモト云初ノ
 元似合子トシ初
 したにれやれ
 其の世ト思こし

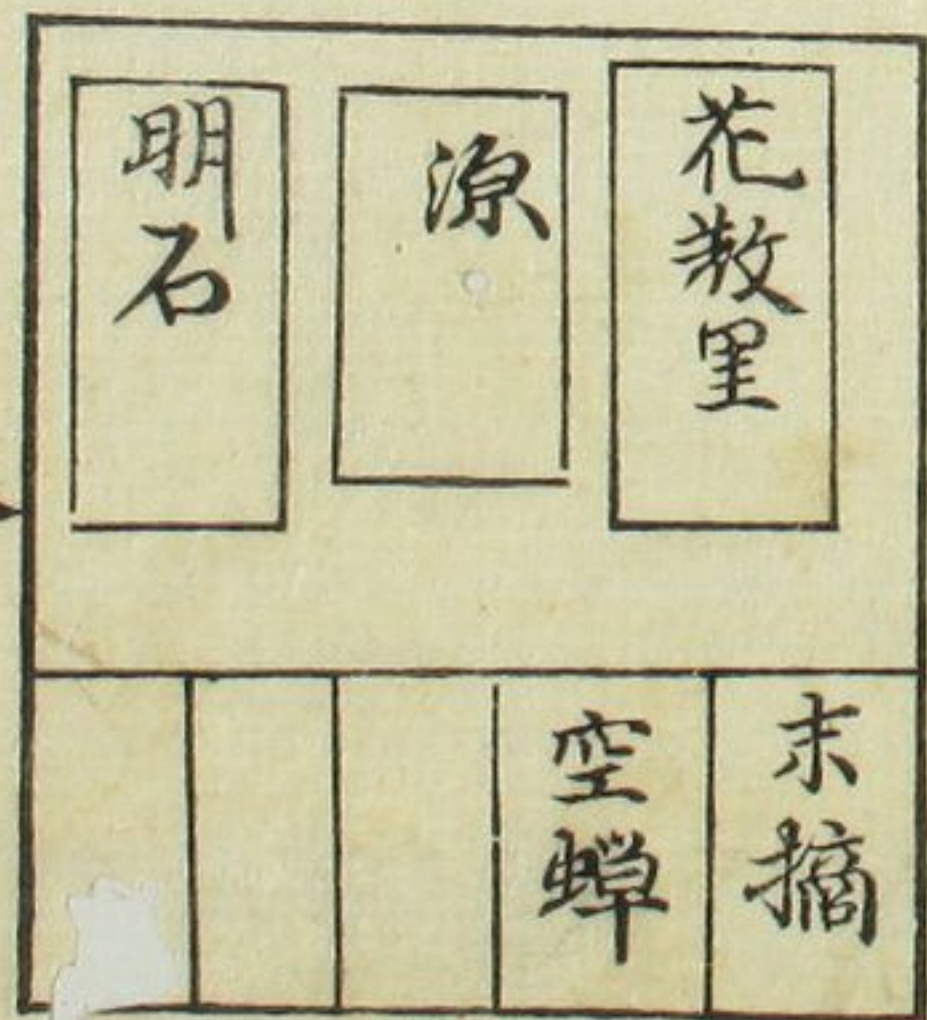
南



六條院

小

東



二條院



太上天皇

相壺ノ内

前坊

秋好中宮

母六條甲休采

桃園式部卿宮

三宮

女五宮

朱雀院

母弘徽殿后

今上

母美香殿女

春宮

母明石中宮

女一宮

落葉宮

母一条山鳥采

二品内親王

女三

母先代源氏宮女壺

女四宮

式部卿宮

白兵部卿宮

若君

母定治中君

常陸宮

母更衣

中務宮

母明石中宮

一品宮

日

女二宮

母有壺女

右衛門督

母三條上

中納言

母友門侍

右大辨

三條上

侍從宰相

源宰相中將

三條上

頭中將

友門侍

六條院

母有壺更衣

夕霧左大臣

母葵上

薰大將

母女三宮

明石中宮

母明石上

重宮

同

宮印方

母真木柱上

螢兵部卿宮

四宮

母美香殿女

帥宮

八宮 母大臣女

角總大君 母大臣女

四位少將 三条上

中君 日

童

三君 三条上

春宮女御 三条上

式部卿宮

侍從

中君 日

宮君

三君 三条上

冷泉院

一宮 母致仕大臣女

四君 三条上

一品宮 母致仕大臣女

女一宮 母致仕大臣女

五君 日

女二宮

女二宮 母一宮日

六君 三条上

前齊院

先帝

式部卿宮

源中納言

薄雲女院

中將 若君

源氏宮 母致仕大臣女

侍從

常陸宮

阿闍梨

民部大浦

攝政太政大臣

蓬生君

鬪黑大將室 三条上

致仕太政大臣

柏木權大納言

紫上

左中辨

紅梅右大臣

冷泉院女御

藤大納言

左衛門督

大吏

春宮大吏

藤宰相

藤景殿女御

葵上

頭中將

中君

藏人少將

始前人中將
右殿中將

● 左大臣

女御

● 按察大納言

小山僧都

策上ノ母

● 二條太政大臣

藤大納言

四位少將

左中弁

弘徽殿大后

八郎君

玉鬘曲侍 母夕顔上

弘徽殿女御

夕霧大臣室 母夕顔上

近江君

● 左大臣

大藏卿

修理大夫

女子

藤壺女御

● 竹川左大臣

女

● 大臣 女御 宇治

● 大臣

六條西休承

● 大臣

前攝磨守入道

明石上

按察大納言

雲林院律師

桐壺更衣

次郎君

右兵衛督

右大弁

頭中將

真木桂上

隴月夜尚侍

● 右大臣

● 權中納言

左衛門佐

空蟬君

● 三位中將

宰相

髯黒大政大臣

頭中將

美香殿女御

夕顔上

宰相君

● 右衛門督

女小鄧后

女中印

● 伊豆外

紀伊守

● 太宰大貳

筑前

藏人右近將監

五郎

藏人少將妻

● 太宰少貳

參議藤原惟光

兵衛尉

豐後外

山阿闍梨

藤曲侍

次郎

少將命婦

● 前播磨守

三郎

三河守妻

源義清

揚名外妻

五郎

婦子許

● 常陸外

藏人式部兼

● 參議宮内卿

明石乳母

藏人右近將監

童小若

源少納言妻

讚波守妻

少將小方

兵部君

十
水
海
山
物
信
十
冊
目
上
一
元

原
中
物
語
十
冊

中
古
田
葉

手
乃
也
少
雅
廣
亦
平
氣
之
乃
也
亦
有
也
路
事
十
冊
十
冊
目
上
一
元

十
冊
目
上
一
元

十
冊
目
上
一
元
十
冊
目
上
一
元
十
冊
目
上
一
元

十
冊
目
上
一
元

出... 國... 三... 已... 古... 此... 轉... 寫... 了... 一...
情... 似... 似... 是... 水... 在... 今... 心... 心...

淚滴朔風寒... 蕭... 斗... 數... 心... 千...
須... 史... 去... 筆... 一... 土... 平... 古... 為... 耕... 平... 也...

阿... 阿... 楊... 柳... 枝... 已... 枯... 矣... 况... 况...
妾... 心... 已... 斷... 矣... 為... 情... 願... 得... 中... 心...

